



①掛川城を見学するシンガポール隊



②団隊指導者定形外訓練



③体験の風(清水マリンパーク)



④団委員長・団委員セミナー

今年も「そなえよつねに！」

CONTENTS

年頭のご挨拶	2	ボーイ通信	11
静岡県連盟 連盟長 川勝平太氏 静岡県連盟 理事長 村松武博氏		ベンチャー・ローバー通信	12
体験の風をおこそう	4	静岡県青少年育成会議「青少年団体等の顕彰」	13
シンガポール・スカウト来静!	6	おめでとう友情章	13
平成30年度団委員長・団委員セミナー開催	7	マスコミコーナー	14
平成30年度指導者養成定形外訓練	8	「活動写真」パネル制作およびコンテスト作品募集	15
「指導者投稿」奉仕を続ける、ということとは?	9	お知らせコーナー	16
いつも元気だっ! ビーバーだより	10	・講習会開催のお知らせ ・Polar Star 公式ホームページのご案内	
カブつうしん	10		

年頭所感



一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟 連盟長

川 勝 平 太

明けましておめでとうございます。

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、8月に石川県珠洲市の雄大な草原で第17回日本スカウトジャンボリーが開催され、全国から集まった13,000人のスカウトが互いに交流を深め、友情の輪を広げることができました。

今年は、カナダ、メキシコ、アメリカの3カ国連盟共催により、アメリカ合衆国ウエストバージニアにおいて、第24回世界スカウトジャンボリーが開催されます。万全の準備を進め、静岡のスカウトの力を、世界に向けて大いに発信してください。そして、皆様が世界ジャンボリーのテーマである「新世界の扉を開こう」を実践し、記念すべき静岡県連盟創立100周年に向けて、干支である猪のごとく猛進し、大きく飛躍されることを期待しています。

「青少年が個人として、責任のある市民として、地域、国、国際社会の一員として、身体的、知的、情緒的、社会的、精神的な潜在能力を十分に達成するよう青少年の発達に貢献する」というスカウト運動は、人材育成や地域社会の発展に大きく寄与するものであり、本県が目指す「美しい“ふじのくに”」づくりにつながる活動です。今後とも皆様がそれぞれの立場からボーイスカウトの輪を広げ、精力的な取組を展開されることを期待しています。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



年頭所感



一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長

村松 武博

あけましておめでとうございます。
スカウトの皆さん、さあ、新しい年の始まりです。今年は何を
しますか。

去年の目標は達成できましたか。「進級は?」、「技能章は?」、
「ちかいとおきて、やくそくとさだめは?」。

きっと、そう簡単に目標の達成はできなかったかもしれませんね。
そうだったら、今年もその目標に再挑戦してみてもいいでしょう。

ある程度満足できる結果が得られたなら、新たな目標を立ててみましょう。
たとえ、富士スカウトに進級したとしても、それが最終点ではないでしょう。
きっと、次に目指すものが見つかるはずです。

成人指導者の皆さん、ご奉仕ありがとうございます。

ボーイスカウトの特徴は、班制度と進歩制度にあることはご承知のとおりですが、今、班や組が
編成できない少人数の隊が増えています。

隊のスカウトを増やす努力をすることはもちろんですが、このような状況にある隊は、地区内で、
場合によっては地区をまたいででも、他の隊と協力して、スカウトが班活動を体験できる環境を
提供することを考えていかななくてはならないでしょう。

このような新たな方法を試みるためには、各地区各団の成人指導者の皆様のご理解、ご尽
力が不可欠です。

どうか、スカウトたちにより良い活動を提供するために、知恵をお貸しください。

保護者の皆様、いつもご協力ありがとうございます。

お子さんたちはボーイスカウトに入って、いい変化がありますか。

良くなったことに気がついたら、「さすが、ボーイスカウト」とすかさず、ほめてあげていただきた
いと思います。そうすると、もっともっといい子になってくれるに違いありません。

静岡県のボーイスカウトは、2021年に創立100周年を迎えます。

スカウトたちは、その歴史の1ページを作っています。みんなで輝かしい100周年を迎えられる
よう、なお一層のご支援、ご協力をお願いします。

さあ、今年もみんなでボーイスカウト活動を楽しみましょう。

静岡子ども体験フェスティバル

体験の風をおこそう

野営行事委員 酒井 達陽氏 静岡地区事務長 大石 稔氏
 富士第6団ビーバー隊 上村 愛依さん 清水第7団 団委員長 高丸 眞一氏

■と き:2018年11月11日(日) ■ところ:清水マリンパーク



野営行事委員 酒井 達陽

「体験の風をおこそう」運動とは国立青少年教育振興機構が主催し、子どもたちの成長にとって体験がいかに重要であるかを広く伝え、体験活動の推進についての社会的機運の醸成を図る運動です。11月11日清水マリンパークにて「静岡子供体験フェスティバル」を開催しました。幸い天候に恵まれ、共同開催されているしずおか建設まつりと合わせ大変多くの参加者がありました。

野外力検定を認定するという目的で、①野菜・果物を目かくしして触り名前を当てる「わたしは何でしょう」、②閉じた傘を手の

平に乗せてバランスを取る「かさで バランス」、③

色々な形の石で、直径30cmの形を埋める「石でジグソーパズル」、④自分の感覚で2kgの石をザルに乗せる「重さどんぴしゃり」、⑤バランスよくロープの橋を渡る「綱渡り(モンキーブリッジ)」の5つのブースを持ちました。特にモンキーブリッジは昨年よりも高い位置で渡る大がかりな工作で墜落防止にネットを設置する配慮を行い、富士山を背景に渡ることができて保護者からも好評でした。冒険心・挑戦心を大きく持てた体験になったと思います。またボーイスカウトの存在を高めるためにあちこちに各地区ののぼり旗を立て、受付にはパンフレットを置き広報活動も行いました。制服を着たスカウトも参加してよい宣伝効果になりました。

当日海外客船セレブリティ・ミレニアム号が清水港に入港しており海外の観光客数人から記念に写真を撮ってもらいたいと頼まれました。客室乗務員でホンジュラスのボーイスカウトの隊長をしているマリオさんが私とボーイスカウトの挨拶であるスカウトサインをして左手で握手をしました。本国のスカウト活動の写真を見て懇談をしました。ほか、いろいろな体験で得た経験を今後のスカウティングに生かし、「人格」「健康と体力」「知識と技能」「奉仕」の社会人に必要な 資質を高めていかせたいと思います。



静岡地区事務長 大石 稔

静岡地区は、「石でジグソーパズル」を担当しました。段ボールで作った30センチくらいの様々な型に自然石を入れていきます。型を抜いて、形が整っていけば、合格です。小さなお子様から大人まで楽しめるゲームとなっています。一番難しい星型にチャレンジする子、色々な型にチャレンジする子、出来上がりも様々でしたが、一日中楽しく遊ぶことが出来ました。



清水第7団 団委員長 高丸 眞一

11月11日清水マリンパークにて「体験の風」を開催した際、モンキーブリッジを制作、一般の人達に渡るのを体験して頂きました。清水7団は毎年地元のふるさと祭りでのこのモンキーブリッジを設営しており、昨年に引き続き、協力させて頂きました。昨年は、高さ60cm程のカニ渡りロープでしたが、よりボーイスカウトらしく木材を使い、ロープワークを駆使し、子供たちの冒険心を育てたいという思いと、KYTの観点からも、落下した際、頭から落ちる可能性が大である事、安全ネットの張りようがない事等から、当団がいつも張っている高さ3.2mとしました。

また、ネットを張る事で、途中で動けなくなってしまった人を救出する為に、高所作業車を近くに待機しました。いつもの事ですが、ボーイスカウトの活動は、危険と冒険の見極めに悩む事が多々あり安全と思う事が、危険を生んだり、それでも安全を確保しなければならないという事で、神経のすりへった一日でした。ともあれ、富士山をバックに設営、多くの人達に楽しんで頂き、ボーイスカウトのPRにもなりました。なによりも1人の怪我もなく無事に終了した事にホットしています。早朝より、協力して下さい、富士地区の方々、清水地区、委員長他の方々、当団の皆様、お疲れ様でした。

富士第6団 ビーバー隊 上村 愛依

でんしゃののってしずおかこどもたいけんフェスティバルにさんかしてきました。モンキーブリッジはこわくてできなかったけど石をカゴにつんで2キロするのが2かいめでピッタリになってうれしかったです。あとかさを手のひらにのせてバランスをとるのがやいんさんがもりあげてくれたのしかったです。ダンボールめいろもたのしくてなんかいもやりました。



シンガポール・スカウト 「Black Knight」来静!

静岡地区 国際・対外交流委員会 委員長 松田 茂(静岡第27回)

シンガポール・スカウトが ウィンタースポーツを体験!

今年3月の静岡地区カブ・ボーイ第2回シンガポール派遣のときに、現地シンガポールでもとても親切にお世話してくれたボーイ・ベンチャー隊「Black Knight」のスカウト6名・指導者3名が、12月7日～16日(10日間)に静岡県を訪問しました。

常夏の国シンガポールでは経験出来ない冬のスポーツを体験したい、との希望があり、「ぐりんぱ」で屋外スケート、「イエティ」で2日間のスキー、朝霧野外活動センターで屋内スケート、とウィンタースポーツを満喫しました。

生まれて初めてのスキーでも、スカウト達は2日目の午後には自由にゲレンデを楽しそうに滑走していました。(指導者は苦勞してましたが)

県内のスカウトとの交流も、「ぐりんぱ」での合同スケート・中央青少年交流の家での「キャンドル・ファイヤー」・熱海市内の合同ハイク・ホームステイ・静岡市での「さよならパーティ」を行い、沢山の出会いと友達作りが出来ました。また、掛川城見物・青木ヶ原の洞窟探検・うどん打ち体験・ミカン狩り・染物体験で日本の自然・文化・歴史を学び、回転すし・静岡おでんなど本場の和食も堪能していました。

来年2020年には、静岡地区のカブ・ボーイが第3回シンガポール派遣で訪問する計画があり、彼らと再会を約束して別れました。

世界中に仲間が沢山いるスカウト活動の素晴らしさを実感出来た、とても楽しい10日間でした。



掛川城にて

平成30年度団委員長・団委員セミナー開催！

今年は“組拡広報を学ぶ場”としてソカクコーホーカレッジを展開。
静岡会場：11月23日(祝) 静岡労政会館 浜松会場：12月9日(日) 天竜川協働センター



昨年の団調査を踏まえ“一個団ごとの組織体質の変革”が必要であると結論し、そのために団委員長・団委員セミナーを新たに“組拡広報を学ぶ場”として推進しています。展開は東部(2/9)中部(11/23)西部(12/9)の3ブロック。

団や地区にあっては“地域を知り、目標や対策を練り、実践におよび修正し、再び実践する”認識を変えること、時代は激変しています。今こそ積極的に従来のことを見直し、変化とのズレを修正し視点を新たにしてい地域特性を掴み、BS普及・広報・募集策へ繋げることです。過去の事例を研究するもとらわれず、勇気を出し改善し状況にフィットさせることが重要です。

登録数は毎年減少しています、その原因はいくつか考えられますが少子化、人口変動、保護者の変化・・・確かにこういった社会変化がボーイスカウト運動、特に募集に不利な影響を与えています、しかし多くは我々の側に問題があるのではないのでしょうか。社会の変化に対応できずズレてきています、早期に我々の側が変化に対応してスカウトを獲得する術を学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

この国にボーイスカウト運動が来た100年前、そして参加者が膨れ上がった昭和30年代。確かに高度成長期という社会的なあと押しがあったと思いますが、その時代時代で努力が積み重ねられてきたはず。ここ数十年の登録数の下降線にあっても道は必ずあります。一つ一つ過去と現在を確かめながら明日を創りましょう。

頼れるものは自分のやる気と仲間、スカウトに背中を見せて前へ進みたい。

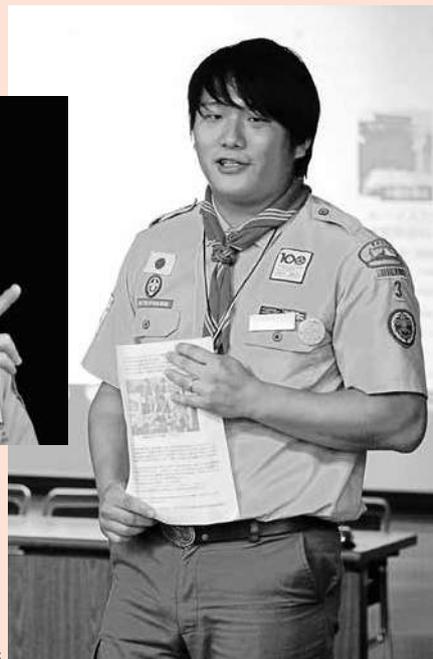
カレッジ基本方針”数値に根ざした認識向上と方法論研究と実践”

組拡・広報の位置づけ、登録数値の見方から組拡広報の手法全般、事例研究、所属地区・団の具体的行動と数値目標の策定

”若手の参加を”



組織広報副委員長
稲野 吉弘氏



組織拡充広報委員
西尾 崇伸氏

平成30年度指導者養成定形外訓練

東部会場: 11月24日(土)~25日(日) 三島市立箱根の里

西部会場: 11月24日(土)~25日(日) 浜松青少年の家

静岡県連盟副ディレクター 池ヶ谷充寛

隊指導者および団指導者向けに東西部同日かつ同内容で定形外訓練を実施致しました。定形訓練で不足していることは何かを各部門の日本連盟リーダートレーナーにアドバイス頂き、日本連盟アシスタントリーダートレーナー主任講師として実施致しました。隊指導者向けには「一人で悩まなくても大丈夫！」と題し具体的技能を体験・実施できることを目的に、また団指導者向けには「団指導者の支援能力向上」と題し隊指導者の業務内容を知り団指導者として隊に対する支援能力向上を目的に実施しました。参加者からは、このような訓練を今後も継続してほしい、一人では行うことできないことが体験できた、改めて気付かされたこともあった等の評価を頂き、十分に訓練の目的を達成できたと思っています。

但し参加人数は東部会場は全部門で合計27名、西部会場はBS部門のみで7名の参加者と訓練を行う上での最低人数に達しないことから参加辞退頂いた方には深くお詫び致します。来年度も同時期に定形外訓練を実施する予定でありますので多数の参加を期待します。

仲間が集まれば何か得ることがある！



④ 東部会場に参加された方々



④ ビーバー隊指導者



④ 西部会場に参加された方々



④ カブ隊指導者



④ ボーイ隊指導者



④ ベンチャー隊指導者

指導者
投稿

『奉仕を続ける、ということとは?』

沼駿地区 清水町第 1 団 ローバー隊長 平出 雅一

私達、清水町第 1 団のスカウトハウスは、一級河川である「柿田川(かきだがわ)」の直ぐ傍にあります。また最上流部には「柿田川公園」があり観光客で日々賑わいをみせています。そのため私達のスカウトハウスの直ぐ脇に「柿田川公園案内図」の看板が設置されており、またその案内看板の下部にはアクリル箱が取り付けられており当初は「柿田川案内リーフレット」が入れられていました。



しかし案内看板の案内図はかなり簡略化され分かり難く、またアクリル箱は悪意を持った者に壊されてしまいました。私は、平成 12 年にベンチャー隊長に任命されました。その際スカウト達と話し合い、案内看板をどうにかして保全できないものかと検討を始めたところスカウト達からは、「アクリル箱を復元する」「案内看板の補修を行う」「手作りの柿田川公園案内地図を作成し、町発行のリーフレットと一緒に折り込む」などの提案があり、それを隊の継続奉仕作業として後輩スカウト達に申し送っていくことも決定されました。



その後代々のスカウトの手により「手作り案内地図の継続的な修正」「アクリル箱の修復」「案内看板の案内図の修正」が行われました。しかしここ数年、ベンチャー隊への上進者がいなくなったことからローバー隊が一致団結して作業を引き継ぐことになりました。しかし果たして、この奉仕作業は、いつまでも続けることができるのでしょうか？今現在、『奉仕を続ける』ことの難しさを突き付けられ、徐々に、悩み捲っている最中であります。



いつも元気だっ!
ビーバーだよ!

地区ラリーでハロウィンパーティー

三島地区 函南第 2 団ビーバー隊 内田おうすけ

10 月にビーバースカウトでハロウィンパーティーをしました。色々な地区の仲間のビーバーが 30 人くらいあつまりました。

4 チームに分かれて、ぼくは赤チームでした。かそうするためにお面とマントとぼうしを作りました。お面の形の紙に絵をかいて、黒いふくろにシールをはってマントを作りました。



絵をかいたぼうしは丸めてホチキスでとめてかんせいです。かんたんにできました。

できたいしょうでステージに上がって歌を歌いました。赤チームはかえるのがっしょうを歌いました。ドキドキしたけど大きな声で歌えたのでうれしかったです。とてもたのしかったです。

来年はカブスカウトになって、またさんかしたいです。

たのしいキウイフルーツカントリー

島田地区 御前崎第 1 団 ビーバー隊 植田 龍二

ぼくは、ビーバースカウトでキウイフルーツカントリーにいきました。キウイフルーツカントリーには、ころころしたかわいキウイがたくさんなっていました。

ウサギやヒツジもいました。ぼくは、ニワトリをおいかけました。

どうぶつやキウイを見ながらほそい山みちをたくさんあるきました。足がすこしいたくなっただけ、あとでたべたキウイはとてもおいしかったです。ぼくは、きいろキウイがおいしかったので、ナイフできってスプーンでたくさんたべました。おなかいっぱいになりました。



また、こんどはうちのひとと、いけたらいいなとおもいました。

キウイフルーツカントリーにいくと、またいきたくないひとはいないなとおもいました。こんどはどうぶつにエサをあげたいです。



カブつうしん
CUB SCOUT

「富士山カブ大運動会」に行ったよ

富士地区 富士第 11 団カブ隊 三枝 崇之

今日は、富士地区の富士山カブ大運動会に参加しました。カブラリーは、2 回目の参加でした。朝から閉会式の歌の指揮のこともあり少し緊張してしまいましたが、隊長や副長、ボーイスカウトの先輩が応援してくれたので、がんばることができました。

朝、富士西公園へ行き車から出た時、前に来たことがある公園だと気が付き、ここでやるんだなと思いました。

午前中は綱引きがあり、ぼくのチームは 2 位でした。みんなで力を合わせて頑張ったおかげだったと思います。

昼休みはカブ弁を食べた後、仲間たちと一緒にサッカーをして遊びました。ロープを使ってゴールを作ったらほかの団の人が集まってくれて、一緒にサッカーを楽しみました。

午後からは、飯ごうを使ったラリーをしたり、じゃんけんゲームをやりました。運動会の結果は 9 チーム中の 3



位でした。ぼくはチームのみんなと協力したり、作戦を立てたり忙しかったのですが、3 位になってよかったです。

閉会式では歌の指揮もでき自信ができました。また、カブラリーに参加したいと思います。



楽しかった夏キャンプ

志太地区 焼津第 5 団カブ隊 村松 美空

私がボーイスカウトに入るきっかけはお兄ちゃんでした。私のお兄ちゃんがボーイスカウトも入っていて、いろいろな行事について行くといつの間にか私も入りたいと思うようになりました。最初は友だちもいなかったのですが、今では大切な友だちができました。

一番楽しかった思い出は夏キャンプです。夏キャンプの中で一番楽しかったのは川遊びです。川遊びでみんなで石の上からジャンプしたり、魚を追ったりして遊ぶことが楽しかったです。ほかにも友だちといっしょに横にならんで泳ぐことも楽しかったです。来年はカブではないけど夏キャンプに参加したいです。

さつまいも だいじょうぶかな?

浜松地区 湖西第 1 回カブ隊 金子 一珠

「さつまいも、だいじょうぶかな」とわたしは、さつまいもをしゅうかくする時まで心配していました。なぜそんなに心配していたかということ、5月にさつまいもを植えてから台風や暑さなどのたいへんな事が起きていたからです。台風で植えたつるが飛んでいってしまったり、暑くて、水が足りなくなったりしているかもしれないと思って、ときどき見にも行きました。その時は、葉が少ししおれていたの、おどろきました。「今年のさつまいも、虫くいや、小さいもばっかりかな」と思いました。

10月、いもほりの日になりました。わたしは、とてもときどきしていました。でも、畑はつるや葉が元気だったので、おどろきました。土の中も元気が調べたいと思いましたが、ほる前に「やること」があって、その「やること」が大変でした。それはいもづるを切ったり、ぼう草シート、マルチをはがす事です。ほる手順は、まず、うねの土をくずして、いもが出てきたら、手でほります。

わたしは、やっと出てきたいもを見ておどろきました。小さいももあったけど、大きいもたくさんついていたのです。みんながほったいもを木ばこに入れるため近くにあつめたいもを見てもっとびっくりしました。虫くいは少ないが、2段や、くの字になった変わった形のいもがあったからです。「おもしろい」と思うと同時にたくさんとれて植物もがんばっているのだと分かりました。わたしは、これからも植物を大切に、かれないようにして行こうと思っておきました。



スカウトフェア

御殿場・小山地区 小山第 4 回 ボーイ隊 湯山 祈月

11月18日の日曜日に御殿場・小山地区のスカウトフェアが行われました。場所は御殿場市高根にある中郷館で、地区スカウトの他に、一般の親子25組(子供50人)が参加してくれました。この日は、ボーイスカウト以外の各地域の行事も多く、スカウトの人数は少な目でした。ですが、一般の子供達が多く来てくれて良かったです。

僕は、ラリーへは回らず、リーダー達と同じ様にプー

スの係員をしました。団で行ったのは、吹き矢と、紙鉄砲でした。

僕が吹き矢の担当をし、団委員長が紙鉄砲の担当でした。主に、幼稚園・保育園生から小学生低学年が相手だったので、一から手順を教えてあげました。自分達で工夫をして、遠くまで飛ばせるように頑張っていました。

ビーバー・カブのスカウト達だけでなく、一般の子供達も楽しめていた様でした。普段とは違う目線で、子供達と触れ合う事が出来たと思います。

近年では、御殿場市・小山町ともに、スカウトの数が減っています。無くなってしまった団もあります。対象人口が減っている中でも、こういう機会を通して、1人でもボーイスカウト活動に興味をもって貰い、入団するスカウトが増えてくれると嬉しいです。

僕は、17NSJで様々な体験をしてきました。その経験を、後輩スカウト達にも伝えていこうと思います。そして次のNSJは一緒に行こう!!



猛暑夏サイクリングキャンプ

磐田地区 豊田第 2 回 ボーイ隊
初級 小野 史織 2級 鈴木あおい 隊長 寒川 雅史

通年、BS 隊は団合同夏キャンプで、昼はハイキング・岩場トレッキングで夜はキャンプファイヤーと夕食は定番カレーで訓練をしてきており、テント含め資材は車運搬としてきた。しかしながら昨今の自然災害から、自分のことは自分でのモットーで、テント含め全資材も自分で運搬する野営を今年は実施した。一泊二日で各自、自転車にテント・飯盒・炊飯バーナー・食材・寝袋・着替えを積み、片道 15 km を猛暑 8 月に走破し野営の上、翌日の岩場トレッキングも走破し無事自転車で往復帰還した。以下スカウトの感想を聞いた。

初級小野史織さんは、『夏のサイクリングキャンプは自然の風の気持ちよさを知り、また自転車で山を登ることの大変さを経験でき、とても楽しかったです。』

2級鈴木あおい君は、『初めてこんな長距離の自転車移動を経験した。始めは目的地に着けるか不安で一杯でしたが、自転車をこぎ始めると楽しくて、つらさはなく、やり遂げる事ができ自信になりました。』



地域の祭りに ボーイスカウト売店を出店

清水地区 清水第 12 回ベンチャー隊 出口 隆一

11月4日朝7時まだ雨は降っていません。天気予報は雨模様の中、地域の祭り準備が始まりました。

ボーイスカウト清水12団のPRと団の活動費へ一助の為に、祭りには欠かせない食べ物屋を出店し、売り子を務める日です。(但し、作るのは業者をお願いするので、味は保証付き)公園の広場の指定場所に団名入りのマーキーテントを張ってボーイスカウトの売店であることをアピールします。

近くには、ガールスカウトや小学校PTAの売店等が多数並んでお祭りの雰囲気が出てきました。

テントの準備ができたところで、販売品のメニューを書き出し、目立つ様に机に張り出します。

販売品目は「たこ焼き、焼きそば、お好み焼き、フランクフルト、あんこクリームのたい焼き」と多数の品揃えです。

今日は幸いにも、競合する品目の売店は他には出店されていませんので、売り上げアップが期待できそうです。心配なのは天気のみです。準備の時に雨がパラりましたがすぐ止んでいます。

9時の開会式を合図に販売が始まりました。今日の販売員は5名。半端なお釣りが生じる“たい焼き”(1個¥130)は、計算が得意な女性副長が担当します。

男性の隊長達は計算が楽な品目の担当ですが、お釣りを間違えない様にとドキドキです。

開始直後から、小腹がすいたお客さんが“たい焼き”の前に並び始めています。その後も販売は順調で、作るのが追いつかない程です。販売員は超多忙でお昼を食べる時間も取れません。

こうして2時半には準備した品目を完売して終了です。心配した天気も何とか持ちこたえて、おかげで多数の人出があり、ボーイスカウトのPRや活動費も潤った一日でした。



SURF & SNOW

掛川・袋井地区 掛川第2回ベンチャー隊 隊長 浅井 淳孝

SURF&SNOW、バブルを謳歌した往年の皆さんには懐かしい響きのこのワードが今年度の掛川2団ベンチャー隊のキーワード。SNOWについては従来からのスキー&スノボ、SURFの方はというと今年からSUPに取り組むことになりました。

VS会議(ベンチャー会議)でやろう!と決まったのはいいものの、どこでどうやるか?みんなでスマホを取り出して検索すると浜名湖や清水港などの紹介が出てくるも、体験コースに電車代も考えるとけっこうな出費です。しかも最近人気なのでどこも予約もできません。

さて困ったと次の会議でさらに調べてみると、なんと地元掛川にサーフショップが有りスクールもやっていただけとのこと、まさに灯台もと暗しでした。しかも比較的リーズナブルで交通費も掛からないということで、早速お願いしました。行ってみると、教えてくれる代表の方も東京でボーイスカウトをやったとのこと。こんなところでもスカウトの輪が広がりました。

ということで、毎月1回のVS会議、SUPやスキーなど有志で行うアクティビティ、BS隊への上班隊付奉仕、それらと平行する各プロジェクトが掛2VSの主な活動です。県下各団の皆さん、よろしければ一緒に活動しませんか。



静岡県青少年育成会議 「青少年団体等の顕彰」

この度、平成30年度「青少年団体等の顕彰」青少年指導者の部でボーイスカウト静岡県連盟副理事長 花畑金亨氏の受賞が決定致しました。

花畑 金亨(富士市)

少年時代にボーイスカウトとして活躍した自身の経験を活かし、隊及び団の指導者としてキャンプやハイキング、ジャンボリーといった野外訓練に40年以上にわたって奉仕している。

また平成22年にはボーイスカウト日本連盟リーダートレーナーを委嘱され、静岡県連盟の成人指導者訓練の要を担うなど、多くの指導者養成にも取り組んでいる。

(静岡県公式ホームページより)



おめでとう!! 10名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。
記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

平成 30 年 11 月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
小原 悠里	富士	富士第14団 C S隊	小見山直歩	御殿場・小山	小山第4団 C S隊
岡本 愛加	志太	藤枝第2団 BVS隊	小松 大志	富士	富士第9団 BVS隊
落合 徳哉	志太	藤枝第2団 BVS隊	古川 一喜	富士宮	富士宮第22団 B S隊
月見里彩乃	清水	興津第1団 C S隊	佐藤 加奈	富士宮	富士宮第22団 C S隊
岩田 弘喜	御殿場・小山	小山第4団 C S隊	磯部 天太	浜松	浜松第1団 C S隊



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。



ボーイスカウト市長訪問

8月4日から10日に石川県珠洲市で開催されたキャンプ「第17回日本スカウトジャンボリー」に参加した静岡県連盟ボーイスカウト御前崎第1団が8月17日、市長に取組内容を報告しました。同キャンプには海外からの参加者も含め1万3,000人が参加。班長の太石湧翔さん(上岬区)は「自分たちの力で取り組む達成感があった。今回出会った人を見習って自分を磨きたい」と6泊7日を振り返りました。

平成30年10月1日(月)
御前崎市広報に掲載

焼津市・成岡 愛翔 (中学生 15歳)
みなさんはボーイスカウトの日本ジャンボリーが8月に行われたことを知っていますか。僕がこのジャンボリーに参加して、何より良かったのは多くの友達ができただけです。そこでしかできない体験があったからこそ、友達になれたと思

ボーイスカウトで友達交流
います。
日本ジャンボリーは国内・海外合わせて1方1千人以上のスカウトが参加して石川県珠洲市で開催されました。別の隊のスカウトと協力して「火起こし競争」をしたり、導う文字のカードを持った7人が声を掛け合って集まり、「そなえよつねに」の言葉を完成させ

る「友情ゲーム」を行いました。
この「友情ゲーム」は特に心に残り、多くの友達に出会うことができました。この思い出は一生残ります。そして、友達との交流はこれからもずっと続くとおもいます。この貴重な体験をぜひ多くの人にしてほしいと思います。そのためにスカウト活動を伝えていきたいです。

南区 ボーイスカウトが交流深める
日本ボーイスカウト東連盟浜松東地区委員会は28日、本年度地区大会を浜松市南区の遠州灘海浜公園で開いた。スカウトや指導者、保護者ら約380人が参加し、各種表彰や避難訓練などを実施した。



表彰式では、優秀なスカウトや功労のあった指導者に表彰状が贈られた。津波避難マウンドを活用した避難訓練にも取り組んだ写真。紙飛行機やブーメラン作り、ロープを使った綱渡り体験なども行い、スカウト同士の交流を深めた。

平成30年10月31日(水)
静岡新聞 朝刊に掲載



西区 優秀スカウトを表彰
日本ボーイスカウト浜松地区はこのほど、浜松市西区の浜名湖ガーデンパークで2018年度地区大会を開き、優秀スカウトの表彰などを行った写真。

浜松、湖西の両市で活動する9団の小学生から高校生までのスカウトや指導者、保護者ら約300人が参加した。壇上で、野外活動や救護などの技能を身に付けたスカウト43人が紹介され、参加者から拍手を受けた。
スカウトは、ストラックアウトや空き缶釣りなどの10種類のゲームをスタンプラリー形式で楽しむイベントにも取り組み、交流を深めた。

平成30年11月15日(木)
静岡新聞 朝刊に掲載



平成30年11月1日(木) 伊豆日日新聞に掲載

各地区・団で
新聞又は雑誌などに
掲載された記事が
ありましたら応募
して下さい。



平成30年10月3日(水)
静岡新聞 読者のページに掲載

「活動写真」パネル制作および コンテスト作品募集

組織拡充広報委員会 委員長 土山 惟之



地域への活動PRのツールとして今年度も地区や団での活動写真をパネル(A2版ラミネート加工)にして配布します。合わせて活動ムービーも募集しますので下記に従い応募して下さい。また応募作品のコンテストも行い、発表と表彰は次年度県連総会の日に行う予定です。

取りまとめは地区の広報委員にお願いします。

応募方法

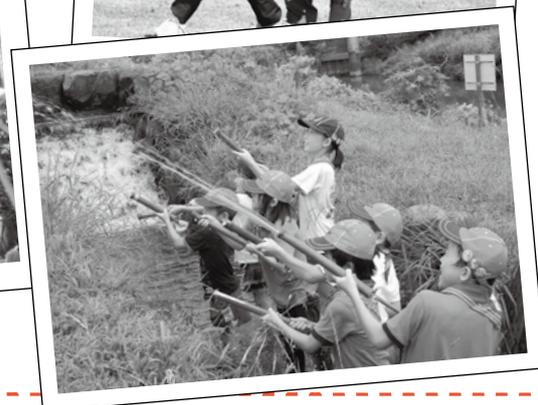
- 応募期間:平成31年2月28日締め切り
- お申込先:各地区の組拡広報担当委員まで
- 応募先:土山惟之まで
※メールアドレス:yuishi_shiramado@yahoo.co.jp
- 写真は画素数の大きいもの(最低でも1メガバイト以上)
※パネルと写真の縦横比が異なるため若干のトリミングをします。
- ムービーは30秒から1分位に編集したもの
※DVD、BD、SDカード等メディアにて応募下さい。
※画質等につきましては別途お問い合わせ下さい。
- 写真パネルは地区または団で管理のどちらでも構いませんが応募と配送先は組拡広報担当委員または地区で指名したものにして下さい。
- 重要:写真ムービー共に被撮影者に一般に公開する旨の許可を取って下さい。

100周年記念誌実行委員会より

**ボーイスカウト
活動の写真、
資料のご提供を
お願いします**

2021年春、ボーイスカウト100周年記念史の発行を予定しております。つきましては過去現在のボーイスカウト活動(ジャンボリー、研修等)の写真・資料提供のお願いを申し上げます。詳細は県連事務局までお問合せ下さい。

前年度の応募入賞作品



おしらせコーナー

ボーイスカウト講習会 静岡第595期

- 日 時:平成31年1月27日(日)
- 場 所: コミュニティーながいずみ
- 申込み: 1月13日(日)まで

ボーイスカウト講習会 静岡第596期

- 日 時:平成31年3月10日(日)
- 場 所: 富士北まちづくりセンター
- 申込み: 2月24日(日)まで

ボーイスカウト講習会 静岡第597期

- 日 時:平成31年3月17日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 3月3日(日)まで

県連盟トレーニングチーム メンバー養成研修会

- 日 時:平成31年3月16日(土)~17日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 3月3日(日)まで

Polar Star 公式ホームページのご案内

Polar Starはボーイスカウト各隊元リーダー達が現役リーダーを応援するサイトです。今日から使えるイラストや情報をたくさん配信しております。指導者の皆さんぜひご利用ください!



- 公式HP
<https://polar-stars.com/>
- イラストサイト
<https://illust.polar-stars.com/>



ホームページ



イラストサイト

ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎ 054-255-6185) まで

ホームページ <http://bs-shizuoka.com>

Facebook <https://www.facebook.com/ShizuokaScoutCouncil/> もご覧ください。

編集日記

あけましておめでとうございます。
昨年は日本ジャンボリーほか、各地で様々な催しが行われました。本年も世界ジャンボリー等、充実したイベントが予定されております。また静岡県連も100周年に向けて記念誌の発刊準備を始めます。

今年も価値ある1年を送りましょう。

広報「たちばな」編集部 杉山 文朗

広 報 “たちばな” 2019年1月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>

編集責任者 組織拡充・広報委員長 土山 惟之

印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678

発行部数 4,981部